



第15回 帝京がんセミナー

日時 2015年6月11日(木) 18:30～20:35

会場 帝京大学 本部棟 2 階 臨床大講堂
東京都板橋区加賀2-11-1 03-3964-1211 (代表)

こどもたちへのケアを考える

～大切な人ががんになったり、亡くなったこどもたちへのサポートグループを通して～

開会のご挨拶

帝京大学医学部附属病院 副院長補佐
産婦人科学講座 主任教授 綾部 琢哉

講演 1 (18:35～19:05)

親ががんになったとき：子どもの発達の特徴と対応

座長：杏林大学保健学部看護学科 教授 中島 恵美子
演者：放送大学大学院 臨床心理学プログラム 准教授 小林 真理子

講演 2 (19:05～19:35)

CLIMB 参加者への継続した支援について

座長：帝京大学医学部附属病院 看護部長 土谷 明子
演者：東京共済病院 がん相談支援センター / Hope Tree 代表
ソーシャルワーカー 大沢 かおり

講演 3 (19:35～20:05)

死別を体験したこどもへのサポート

座長：東京女子医科大学 看護学部 看護学研究科 教授 飯岡 由紀子
演者：NPO法人 子どもグリーフサポートステーション代表 西田 正弘

質疑応答・討論 (20:05～20:35)

帝京大学医学部 緩和医療学講座 教授 有賀 悦子

閉会のご挨拶

帝京大学医療技術学部 看護学科 教授 南川 雅子

参加ご希望の方は、裏面の参加申し込み用紙に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

日本医師会生涯教育講座認定学術単位 (CC5-医師-患者関係とコミュニケーション、CC6-心理社会的アプローチ、CC13-地域医療、CC84-その他 小児家族ケア) として2単位が認定されます。

主催 帝京がんセンター

共催 帝京大学医師会・帝京大学医学部附属病院・がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン・
帝京大学医学部附属病院 医療連携室

後援 板橋区医師会・北区医師会・豊島区医師会・練馬区医師会



講演要旨

親ががんになったとき：子どもの発達の特徴と対応

親のがんが子どもに与える影響、子どもの発達の特徴と対応、学童期の子どもを対象にグループを行う意義についてお話します。

放送大学大学院・臨床心理学プログラム 准教授 小林 真理子

CLIMB 参加者への継続した支援について

CLIMB は、お申し込みの時点から支援が開始し、終了後も病状の変化に応じ相談があるとニーズに応じ対応しています。

参加の期を越えた繋がりへの支援についてもお話します。

東京共済病院 がん相談支援センター／Hope Tree 代表
ソーシャルワーカー 大沢かおり

死別を体験したこどもへのサポート

出来事は過去になっていくがその影響は現在進行形です。

死別を体験したこどもたちへのサポートについて実践例を紹介します。

NPO 法人子どもグリーフサポートステーション 代表 西田正弘

参加申し込み用紙

FAX 番号 03－3964－9342

参加ご希望の方はこちらの用紙に必要な事項を
ご記入の上 FAX にてお申し込みください。

ご施設名	
地区	板橋区・北区・練馬区・豊島区・他()
職種	医師・看護師・薬剤師・他()
お名前	
ご連絡先（電話番号or E-mail）	
ご施設名	
地区	板橋区・北区・練馬区・豊島区・他()
職種	医師・看護師・薬剤師・他()
お名前	
ご連絡先（電話番号or E-mail）	
ご施設名	
地区	板橋区・北区・練馬区・豊島区・他()
職種	医師・看護師・薬剤師・他()
お名前	
ご連絡先（電話番号or E-mail）	

連絡先：帝京大学医学部附属病院 帝京がんセンター事務局

TEL: 03－3964－3091 FAX : 03－3964－9342